



越

裕ちやんの結婚は悲劇です

火曜 日サ一ビス

男エランニンゲンパンツ

去年のボロシヤツは裕次郎スタイルが金盛でしたが今年はまだきめ手がありません。彼が結婚しなかつたら今年もまた一でしなうに

鹿の子柄ボロシヤツ 四二〇円

綿バイルボロシヤツ 五五〇円

3階

平市

紳士皮ヘルト 七分袖女性着

藤越

一〇〇円

一〇〇円

一〇〇円

三三〇円

3階

裕次郎スタイル

公聴会を傍聴して

田原登



石城の大きな間	関係者の顔も若干見えた。
題の一つ、公営バス聴会を傍聴した。運輸省八階の映写室には約三百名が押し掛け	公営側は「公営バス認可付協議会」「市営バス実現会」という二つのタスキを担
座り込みも辞さぬという	

パス側と常盤交差側と三つにわかれて陣をとり、正面には審議委員会七名全員の席についた。何れも白髪の高人揃いである。公宮側は五市長、五議長始め議員、一般公述人がやく百名、これに対し常宮側は野崎満藏老社長始め重役と萩原義雄氏ら革新会系の人たちでやく百名、このほか全額から出願している市営バスえの物々しき、公宮側は何といつても五市長が揃つて公宮パスは絶対に必要だと主張したことは千さんの重みを加えた。常交側は五市長は足なを揃ていないという宣伝をしたが、この檯舞台で五市長が一致結束している事実を見せたのである。また五市長は免許になれば直ちに追加予算で事業費を負担することになる。公宮が出来ても常交は基礎がかたいから圧迫にはならない。ということを手主にまづかした。一般公述人のなかで日土作三君は常盤交通の車に乗ってハジかれ骨折してかたが同様の身となり、見舞金二万一千円もらっただけで法定の金を出してくれない。これは独占企業の独善で自分の様な取り扱いを受けているの

不幸な人が他に多少山あるらしいと述べ、審議員たちみな身を乗り出して聴いていた。

× ×

常文側からはもうかる路線ばかりを公営が申請したので、公益性を無視した申請だ、この路線は常交の生命線で民間企業の圧迫であり、市長選挙を有利にするための公約を政治的に利用したもので一般はそれほど関心がない。これまでの運動費を平市が三千万円も費った。もし免許になつて、もつかったときはよいが損をしたときは平市が負担するのでは市民は納得が行かない。公営は赤字になることが明かだからやめろ、といった

× ×

果してこの両者の云い分を聴いて審議委員たちがどうい

受取りかたをしたか。朝の十時から夜の十一時三十分まで（その間ヒル、夜や二時間休む）やく四十五人の演説を聴いた。審議員たちもさぞうんざりしたようだった。記者も実を云うとうんざりしたが公聴会を聴いて直感したことは、何と云っても公營側は公共の福祉の爲と云うことが基調で私利私欲のない話だから筋が通っているのに、免許になることは間違いないと思つた。ところが常交側はいつらる弁明（べんめい）が結局のところは、俺の方の利益が薄くなるから公營をやめようといふうちに受取れない。私情の上からは常交さんには気の毒だと思つた。然し公共の立場から考へるならば公營パスがあるやうに常交と適度の競争をして、ともに石城の福祉民権を計る

ことがよいのであつて、常交側の主張には賛成しかねるのである。常交は公共性の高い事業をやっている。従つて国家の保護を受け今日の野崎王国を築いたのである。その実力は中央の一流会社を凌ぐものがある。だからといつてこの地方住民の要望を一顧するワケには参らない。野崎社長は交通工業には貢献も同時にまた石城唯一の成功者でもある。それは地域住民の協力があったためであることを忘れてはならない。

何を苦しんで五市と斗ふ必要がある。五市長を敵とするとは即ち石城三十万住民を敵に廻すようなものではないかと思つた。野崎翁の前途を考へて去つて公共につくことが、ほんとうである。

この地方住民の要望に反対するとは公共の立場を忘れてゐると思はれても仕方がないかと思つたであらう。若し公營パスの実現によつて常交がひどい圧迫を感ずるといふのなら同情の余地はある。然し野崎王国は微動もしないだらう。これ以上公營に反対することはあまりにも欲が深すぎる様に感ずる。感情を掩（おほ）つてゐることは大人物でないとなつてゐることは出来たことだが大恒（おほつら）番して五市の要望を容れれば野崎翁の交通功労者として功績は永久に残るだらうが、そでに既定方針で進むから単に利潤追求のみに終わる結果となつてしまつてはならないかと思つた。野崎翁の前途を考へて去つてはならぬ。

乗客の一人に助かれて松村病院に収容されレントゲンで診断の結果「腰部三所所に複雑な骨折」と判り、四十二日間入院加療致しました。

その間常交の中野第一営業所長が舞舞に來て三回に亘り二万千円の舞舞金をもらったが、法定の自動車損害賠償保険法の手続きについて会社がしてやると云いながら今もってそれをせず、勝手に松村病院に入院したのだから冷後

兩線を無免許運転

常交の独占企業の弊害を暴露

一般公述に入るや諸橋市長は常交の独占企業には弊害があり、しかも道運法による悪質な違反をおかしていたと大要左の如く述べなみ居る人々を驚ろかした。

露されたので常交は同年八月臨時免許をとったが、これは道運法による悪質違反で、前者は罰金三十万円以下、後者は三十万円以下に該当し、新改正法によると（目下議会で審議中）このほか前者は六カ

月以下の体刑併科、後者は一年以下の体刑併科に該当する行為である。これは独占企業であるが故に國法を犯してたものと見ることが出来、独占の弊害を物語るものである。

工業用地造成計画もあり、その誘致態勢も確立、交通はますます激化の一途である。然るにバスは既設一社だけでこれに依存することは出来ないので五市が渾然一体となりバスの免許を申請した次第で

ある（財政を説明）終りに常
警交通は五市の意見が一致し
ないと言伝しているが、市議
会の議決を経て本事業に参加
している現状でその意志に妥
更はなく、一日も早く五市公
営バスの運行を期待している

通して

所の廃止

活の利便、福祉の増進、市政
の円滑化のためには市内循環
バスの運行を強く要望され、
市民の要請に応じ地方自治体
の責任において勿来市循環線
及び五市を従貫する勿来線を
運行することなれば五市の
行政、文化、経済等諸般の交
流が円滑となり市政発展に寄
与するところ大である。

勿来市は本年二月新市庁舎竣
工に伴ない各地区（旧町村）
市役所出張所を新年度から廃

市の意見は一致していないと
いう言伝は、事実に関連し勿
来市は市議会の議決を経て、
五市に参加している現状でそ
の意志には変更がないのでせ
う願います。

ひとも御免許を賜りますよう

ねられ

骨折

難を非難

冷淡

交通は益々激化

三代磐城市長の公述

會、これを暴露したので常交は同年八月臨時免許を得た更に、右同様警城市大原・原木田間（七七銀行支店前）二・五キロの免許路線を勝手にこれを廢止し、大原・松の中間（ガス会社社前）一・九キロを無免許でバスを運行していた。右の行為は道運法第四條、第四三條、第一二八條の違反でありこれも聴問会で暴	警城市は本郡屈指の漁業地として小名浜、江名、中の作の三大漁港を有し、年間六万九千三百八十二、二十余億圓の水揚げを誇り、漁業人口六千三百八十五人、従つてカマボコ、ミリン干、カツオ節の製造を初めの水産加工は盛んでその人口三十二人、生産額十億圓に達している。
一方小名浜港は重要港湾の指定を受け国際貿易港としての施設を整備し内外大型船舶の出入は著し増大し取扱貨物は年間外国向け貨物二十万トンに達している。	一方企業の立地条件に恵まれ常磐総合開発の中心地に日本水産、専売公社製塩工場、新日本化学、旭化成、平田紡績等があり、この従業員二千九十二人

更に常盤共同火力発電所の誘致に成功し第四期の拡張工事も終れば三十万キロワットの大発電所となる。本市を東西に貫く鮫川は工業用水確保の源でダム建設事業が進められ完成の時は常盤総合発電所の大源動力として本市はもとより当地方産業の飛躍的な発展に寄与され人口も必然的に増加する。観光面から見ると

美は観光客の利用に供されバスによる交通の需要は増加の一途である。

つづいた事情のもとにおいて独占企業である民営一社に依存していることは住民感情からして適当でなく、これらの事情は管理者である平市長が述べた通りである。

また当局としては合併による行政区域の拡大による市民生活の改善が実現する見通しも明ないので、早期実現に向つて努力することを言明して議会の諒承を得、出張所（三力所）廃止に随切つた次第である。

以上の理由から五市公営を申請したもので（財政説明）免許になれば勿来市の事業分担金は三十五年度の追加予算に計上し支出する確信であり、

報道機関その他各報に伝える五市公営の決定は、

私は平から磐城市江名に五年間通勤、三十三年十月二十七日平駅前発七時二十分のバスに乗って谷川瀬地内のでが串道路でアッと言ふ間に体が叩きにはねあられバスの天井に頭を激突するその反動で床に叩きつけられ意識不明となり、

免許を見通して

三出張所を廃止

赤津勿来市長の公述

バスにはねられ
腰部三カ所骨折

自土作三氏、常交の冷淡を非難

ていないので警察では事故証明が出来ないという、その後私は電気療法、湯治、大河内医院に二月分ほど通動したがバスの通動は振動で傷が痛むので遂に三十四年四月十日江名の勤務先から退社し、失職して今日に至っています。バス業者は人命を運ぶ営業でありながら無謀な運転手のためにこうしたひどい目にあいながら被害者の私に対して欺瞞しその手続きをする意志が無いようです。これは独占企業の横暴といってよく私の様な不辜な目にあつてゐる犠牲者も相当ある様と考えます。若し競争業者があれば常磐交通もこのような無責任は絶対出来ないでしょう。私が身を出来て体験した独占の弊害を参考までに申し上げ五市公営バスの実現を期待します。

ネクタイ ワイシャツ
化粧品 バンド
平駅前大通 電5721

ランドセル 鞆 靴
平市二丁目 電5722

帽子 学生帽
平市三丁目大通電572

百合

伊勢屋

平市四丁目 電二〇四五

荒物雜貨

悪い風邪が流行しています
熱があつてフシブンが痛む
ときは「長崎名物 ヘデク
パウダー」がよく効きます
¥ 50. 100. 200
「せきには コーフ パウダー」

平市二丁目3-1
堀薬局
電話2326

神戸特選霜降牛肉
鎌倉ハム
特約店 緑

屋

食肉のデパート

甘左郎焼

平市銀座通り 電四〇二五

常磐交通側の反論

諸橋氏だけ公営希望

野崎社長の反対公述

外部関係への協力、道路行政については能う限りの協力をした。昭和二十六年湯本地方の国道補修に五十万円を寄附、磐城市と明神地内道路改修に七十万円を寄附するなど道路補修に對する寄附は七百五十万円を越えている。

●石炭不況による企業縮小をむねとして来た常磐炭鉱の鉱員輸送バス九両を譲り受け、昨年三月二日から利害を無視してその輸送に當つてゐる。

▽政争にまき込まれる「昭和二十六年の平市長選には私は立候補を薦められてその止むなきに至つたのであるが、諸橋氏は常磐交通のバス料金を

出している。その経費は延べ一千万円以上に達し、それを競輪収入から支出してゐるといわれている。

▽市営バス申請の内容「平市が市営バスを申請するに当り四市の同意を求めたため、許可までの費用は三十三万五千円が負担し、許可運賃は二万五千円、赤字が二万五千円を平市が負担する。黒字の場合は各所に配当する約束。その後運動費は全部平市が負担する

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

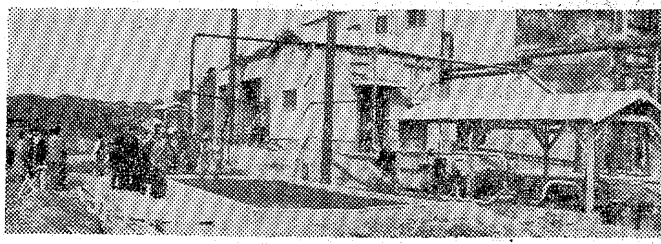
山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。

山野の地味であるが、諸橋氏の公述は、平市長選の際に、平市は市営バスを唱へるより常磐交通を主張すべきではないか。



賛成署名は天下り

野崎喜八郎氏(専務)の公述

人口比率から見て現行で充分である。常交は需給が限界に達している。三つの合点が合点でない、サービスが悪いと云うのが改善の申し入れがない。要望があれば即座にできる態勢と能力をもちいる。五市は採算路線のみを申請した。二社で競争すれば収入のバランスが破れ事業の使命遂行が困難になる。公営は初年度三百十八万円の利益、二年以後五

四市は実現の意欲なし

野崎理夫常務の公述

五市公営と云つても他の四市は五市公営に同意がない。平市長は五市公営の意思を代表して、平市単独では目的達成が困難のため五市で組合を組織する。面積三平方メートル

独占でないで不可

…芹沢重雄常務の公述…

終戦後数年間はサービスの不完全もあつたかも知れないが他社に卒大衆の要望に即して、二、三位の優秀会社の折紙がつけられた。その矢先市長選に市営バス問題が出ていつの間にか五市公営と変化していった。申請した当時も現在も五市公

工費三、〇五〇、〇〇〇円、その外浦井組及び沢沢組等の部分請負等より成り施工責任者は日本建築株式会社である。毎日三百乃至五百石のし尿が清水と立派な肥料として生れかわる日も遠くにはまだこれぞとやむを得ず全市の視察団でこの地、鬼ヶ沢は時々の観光客で賑わつてゐる。

(写真は通日行われた通水試験の状況と処理場の裏側から見たものである)

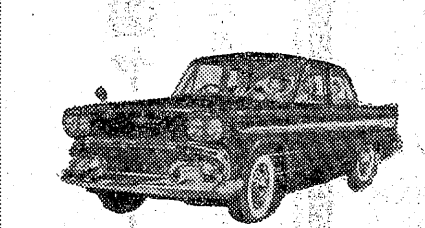
江戸川の主人

放送

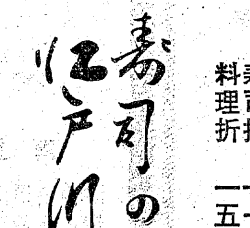
平飲食業会副会長鈴木勝博氏(江戸川店主)は来る五月三日午前七時十五分から郡山放送局から新緑の味と趣し放送をするといふ。

タクシーのご用命は
(電代) 2175. 2640

好問営業所は 5647



平市二丁目
尼子タクシー



春の行楽のお伴には
寿司折と料理折をどうぞ
料理折 一五〇円より

平才植小路店 電話3021 4846
平市紅小路店 電話2727 4845

不動産売買仲介評価貸家斡旋
平宅地建物取引所
平市植小路駅前 色川本店内電話三三六二番

平名物のひとつ
古典的
かま風呂 完
流汗滝の如く
心気全く爽快
旅館 甲陽館
平市駅前 電話三一八一

